

「枕崎市人口ビジョン（令和2年改訂版）（案）」及び「第2期枕崎市地方創生総合戦略（案）」に関する意見公募
 手続（パブリック・コメント）の実施結果について

処 理 区 分	
A	意見の趣旨等を反映し，計画（案）に盛り込むもの
B	意見の趣旨等は，計画（案）に盛り込み済みのもの
C	計画（案）に基づく取り組みの検討に当たり参考にするもの
D	計画（案）に盛り込まないもの
E	その他要望・意見等

市民等からの意見の概要	処 理 状 況	処理区分
<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンがあっても財源がなければ実行できないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり，事業の実施には財源の確保が必要です。第2期枕崎市地方創生総合戦略（案）（以下「第2期戦略案」という。）に掲げる事業の実施に係る財源については，国県補助金のほか，ふるさと応援基金も活用します。 	E
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市に広い土地があればそこを整備し，若者や女性，高齢者等が就業できる場所に誘致できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点で市が新たに一団の土地を整備し企業誘致用地とする計画はありませんが，第2期戦略案においては，企業誘致の促進も掲げています。雇用機会の確保等のため，今後も企業誘致に努めます。 	E
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市を魅力あるまちとして世界に発信することが大事である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり，本市の魅力を発信することは，大事なことであると考えます。現在，市ホームページのほか，SNS等を活用し情報発信を行っておりますが，今後も有効的な発信の方法等について研究し，広く本市の魅力発信に努めます。 	C
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市を魅力あるまちにし，住みやすく雇用の多いまちにしていくことは難しいと思うが，正当な理論より奇抜なアイデアで乗り切れるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の魅力を高め，より良いまちをつくるためには，他市との違いをつくり，そこに価値を見出す必要があると考えます。本市が持続していくために，今後も様々なアイデアにより事業を検討，実施するよう努めます。 	E

市民等からの意見の概要	処 理 状 況	処理区分
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人がやりたがらない仕事に外国人が就いている状況がある。給与待遇が良くなれば日本人の雇用が改善されると思うので、事業者が給与を上げられないのであれば、補助金制度を創設してはどうか。その財源は、移住施策や男女共同参画関連の事業を削ればいいのか。 ・ 男女共同参画社会を目指す取組は、女性の社会進出を加速させ、少子化を招いた大きな原因なのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市では、外国人技能実習制度による実習生も含め、多くの外国人の方が働いております。第2期戦略案においては、住民の所得を引き上げるための様々な施策に取り組みますが、個々の給与に対する補助については考えておりません。 ・ 女性も男性も全ての個人が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、人口減少社会にとって重要な課題と考えます。 少子化については本市にとっても課題ではありますが、結婚・出産・子育てに関する施策と併せて推進することで、課題解決に努めます。 	<p>D</p> <p>D</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大都市から、リタイヤ者及びその家族の移住受入れを促進してはどうか。 ・ 本市に、日本で働きたい外国人を対象とした、語学のみならず技術や国家試験にも対応可能な専修学校をつくってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期戦略案では、世代や性別に関わりなく自分らしく活躍できる地域を創出することや、移住・定住希望者に対するサポートの充実を図ることとしています。 ・ 第2期戦略案において、外国人を対象とした専修学校を設置する計画はありませんが、令和2年度は、市内に居住する外国人を対象とした日本語講座を実施します。 	<p>E</p> <p>E</p>